

サムネ作成

品質の安定を目的にテンプレートを導入

プロセステンプレート

オブジェクトテンプレート

シンプルさを追求したつもりが逆に、

- ルールがシンプル ⇒ 判断の余地が大きい

✓開発者によって、品質にばらつきが生まれる

DIGITAL WORLD ONLINE 2020 SUMMER

RPA市民開発時代、

ロボットのエラーを半減させたワケ

～ レビューによるリスク低減と開発者育成 ～

日商エレクトロニクス株式会社
DX第二事業本部長
青木 俊



2020年8月20日

が上らない)

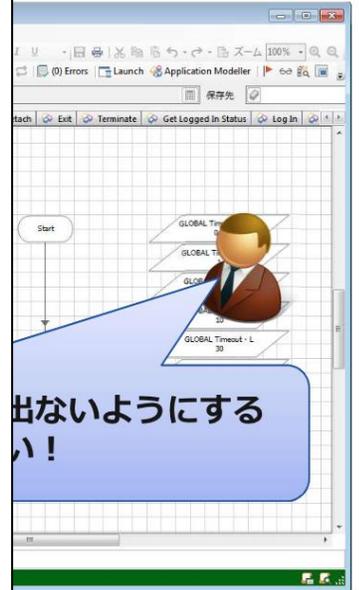
報が混在すると逆に不便

不要

の負荷が限界

製作が進まない

必要な情報が見つげにくい



日商エレの葛藤

Innovation-Leading Company

「ユーザー部門開発」は無理でも「市民開発」へ

Innovation-Leading Company

ユーザー部門開発は「過度な期待」≠ RPAは無価値

市民開発：
ベンダー外注での開発に頼りすぎず、
その会社に元から所属する社員で開発すること
社員は業務担当者自身でなくてもよい

開発ノウハウ無償共有で加速する、RPA市民開発の未来

日商エレクトロニクス株式会社 鈴木秀英

Blue Prism株式会社 市川義規



Innovation-Leading Company

"Your Best Partner"

NE | NISSHO
ELECTRONICS

blueprism®

blueprism
Cloud

Blue Prism DX とは

— デジタルタレントによる競争優位の実現 —

2020年 8月

Blue Prism 株式会社

エバンジェリスト 市川 義規

blueprism

稼働率、費用対効果 (ROI) が低いデスクトップ自動化

Blue Prism

デスクトップ自動化

Blue Prism 優位性 ~ RPA の総所有コストを抑制 ~

1. 場当たりの実装、変化への対応が難しい
2. PCやユーザー、PGMが増えるたびに課金が行われる
3. 無駄が多いソース配置、働いてないロボットの増加

短い
ROI
prism

変更容易性
稼働
まで稼働

blueprism

Digital Labor Station





AI-OCR/RPA活用webinar

貿易 / 通関業務自動化事例を
デモつきでご紹介

2020年11月11日(水) 15:00-16:00



西日本エリア限定
キャンペーン情報アリ!

RPAの運用に
お困りではありませんか？

実体験から語る RPAのツール選定と運用の極意

2020年11月27日(金) 16:00 ~ 17:10



マイクロソフト社登壇！
超入門セミナー

MicrosoftのRPA、
Power Automateでの
手軽な自動化とは？



開始時刻である12月18日（金）16時になりましたら、こちらに動画がアップされます。

マイクロソフト社登壇！
超入門セミナー

MicrosoftのRPA、 Power Automateでの 手軽な自動化とは？



（配信終了後は動画の閲覧ができなくなりますのでご注意ください。）
講演資料はアンケートにご回答後にダウンロードいただけます。

業務選定を徹底解説！

ベストプラクティスによって成功する RPA 導入計画スタートライン

12月18日(金)15:00~16:00



クラウドフローと
デスクトップフローの違いとは？



A close-up, slightly blurred photograph of a person's hand holding a blue pen and writing in a notebook. The person is wearing a grey, textured sweater. In the background, a white mug filled with coffee sits on a desk. The overall scene is dimly lit, suggesting a quiet study or work environment.

日本語で学ぶ！
Blue Prismの
トレーニング方法
まとめ

日商エレクトロニクス標準BPアセットの使い方 其の壱「概要編」



日商エレクトロニクス標準BPアセットの使い方 其の式「メール送信オブジェクト編」



日商エレクトロニクス標準BPアセットの使い方(4) - プロセステンプレート編①



日商エレクトロニクス標準BPアセットの使い方(5) - プロセステンプレート編②



はじめての Blue Prism

其の巻



Blue Prism インフラ種類



Blue Prism インタラクティブクライアント (開発者・運用管理者あたり1台)

- 業務アプリケーションと、Blue Prism がインストールされた、標準のユーザデスクトップイメージ
- Blue Prism 開発者が、プロセスの構築とテストに利用
- 実行時のリソースを監視するために、プロセスの運用管理者が利用

Innovation-Leading Company

Blue Prism インフラ構成

Innovation-Leading Company

)
標準のユーザデスクトップイメージ
キーボードが接続されていない状態)で動

プロセス)

利用

る場所

Blue Prism について



Microsoft Power Automate ご紹介資料

Microsoft Partner
Gold Cloud Platform
Gold Datacenter
Gold Windows and Devices



③ 容易な開発 : ローコードプラットフォーム

Power Automateではローコードプラットフォームで作成するためコードの記述がほぼ不要です。作成画面がわかりやすくなっており、深い学習も必要なく直ぐに作成出来ます。



Power Automate

③ 容易な開発 : 他社のクラウドサービスとの連携

Power Automateの特徴の一つが、他社サービスも含めて400種類以上あるコネクタ群です。Power Automateではこのコネクタを組み合わせることで作成します。サービス毎に接続するための部品を、作成しなくて良いのが大きな強みです。



Power Automate とは?

Power Automate は非開発者がよりスマートに仕事できるよう、ワークフローを自動化するサービス



通知を受信



ファイルをコピー



データを集計



承認プロセスを自動化



Blue Prism Portal とは？

Partner Portal



Blue Prism Community

The Community is the ideal place to share

Blue Prism

Portalとは

Book Pro

Blue Prismの料金プランを
機能や特徴と合わせて、
わかりやすく解説



課金対象	Blue Prism	他社デスクトップ RPA
本番環境	○	○
開発環境	—	○
DR環境	—	○
集中管理機能 (サーバー)	—	○

Microsoft365/ Office365をご利用中の方へ

Microsoft Power Automate プロの家庭教師 DXチューター

導入ステップとスケジュール

	業務内容の確認・トライアル作成	2 Hour
	Power Automateトレーニング	1 DAY
	要件の整理・自動化の設計	1-3 DAY
	自動化の作成・検証	1-3 DAY



RPAとは

RPAについては以下の通り。

項目	RPA (Robotic Process Automation)
コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> デジタル労働者を生み出すプラットフォーム(ソフトウェア型のロボット)
主な特徴	<ul style="list-style-type: none"> アプリケーションやWebブラウザの操作手順をシナリオ化(ロボット作成)し、<u>サーバー上(ないしは、サーバー管理下のクライアントPC上)</u>で実行する。 中央管理型(ロボットの実行状況の把握が可能)
適している業務	<ul style="list-style-type: none"> 全社で共通で行っている業務(各種申請、経費精算、見積作成、売上登録等) 作業ボリュームが多い業務(同じことの単純繰り返し)
メリット	<ul style="list-style-type: none"> 全社でのガバナンスを効かせやすい 1ライセンスで複数の処理を同時に実行可能
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> サーバー環境の構築が必要 構築した環境に対する運用、保守体制が必要 エンドユーザーが手軽にシナリオ修正することは難しい(相応のトレーニングが必要)

©NISSIO ELECTRONICS CORPORATION ALL RIGHTS RESERVED.

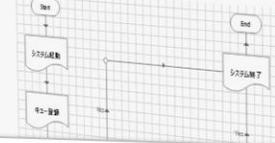
©NISSIO ELECTRONICS CORPORATION ALL RIGHTS RESERVED.

このトリー構造は、
 ・エントリノードを主幹に子ノード構造を形成し、(相
 ・増減の増減に動的に運用、各ノードの増減
 ・ノードの増減の増減の増減

Innovation-Leading Company

Blue Prismの製品特長①-1 メンテナンスと再利用性

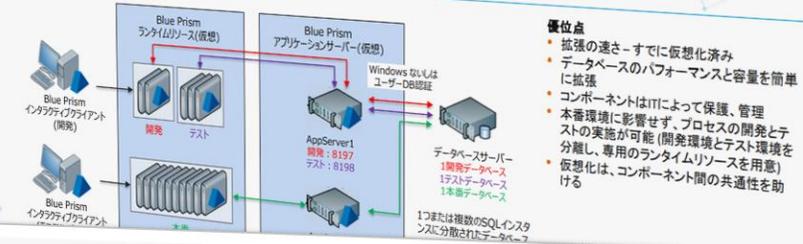
①定義ファイルがフローチャート式
 ⇒ 技術者でなくとも理解、メンテ、運用可能



②部品化された定義は再利用しやすい
 ⇒ 作れば作るほど、開発コストは低くなる
 ⇒ 操作対象アプリの仕様が変わっても、それに面する部分のみの改修が良い

Innovation-Leading Company

Blue Prism インフラ構成例



優位点
 ・拡張の速さ - すでに仮想化済み
 ・データベースのパフォーマンスと容量を簡単に拡張
 ・コンポーネントはITによって保護、管理
 ・本番環境に影響せず、プロセスの開発とテストの実施が可能(開発環境とテスト環境を分離し、専用のランタイムリソースを用意)
 ・仮想化は、コンポーネント間の共通性を助ける

使用するビジネスシナリオを組み合わせて定義
 処理するアプリの操作を定義
 アプリケーション画面項目を定義
 操作対象アプリ

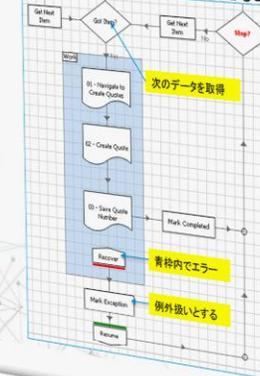
blueprism

UiPath

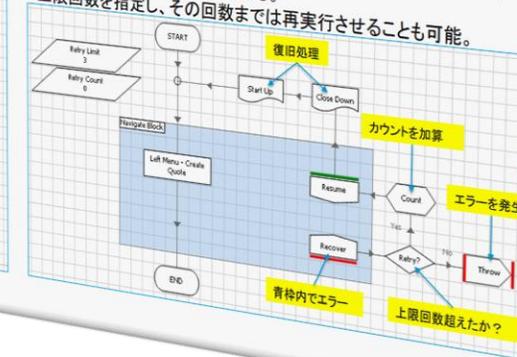
BizRo

Blue Prismの製品特長⑤ エラーに対する復旧力

①途中でエラーとなっても、プロセス全体は停止せず、そのケースのみを例外として扱い、フローを続行させることが可能。



②例外が発生しても、その例外は、ネットワークのタイムアウトのような1回限りのエラーのケースもある。上限回数を指定し、その回数までは再実行させることも可能。



Blue Prismは、Amazon AWS や Microsoft Azureなどクラウド環境への配置も可能で、(データベースはAWS SQL server や Azure SQLを利用)。

Innovation-Leading Company

Innovation-Leading Company

BISHOPPI

Microsoft Power Automate導入事例 製品問合せ業務の効率化

2021年8月
日商エレクトロニクス株式会社
アプリケーション事業本部
デジタルレイバー事業部

©2021 NISSHO ELECTRONICS CORPORATION ALL RIGHTS RESERVED. Confidential.

©2021 NISSHO ELECTRONICS CORPORATION ALL RIGHTS RESERVED. Confidential.

Tips : Formsで入力された長文を改行含めて再利用する

replace('<text>', '<oldText>', '<newText>')

変数X
関数を利用して取得した値を整形していきます。
式は3つの関数を組み合わせて記述します。

3つの関数によってそれぞれ下記のように処理されます。
1. uriComponent関数で、先ほどコピーした「Formsの入力値」をURIエンコードします (赤文字部分)
2. replace関数でURIエンコードされた改行コードをHTMLの改行タグに置き換えます (黒文字部分)

```
replace(変数X, '!', '!')
```

A';
'))
↓
HTMLの改行タグ
指す
...X];
'))

Tips : フローを共有する

- マイフローを選択します。作成したフロー一覧が表示されます。
- 共有したいフローを作成し「共有」を選択します。
- 共有したい相手のメールアドレスを設定します。

※組織的に利用するフローの場合は、
フロー作成後に共有をおすすめします。
担当者の配置転換・離職などが発生した場合に
許可したメンバー間において共同で編集すること
が可能なためです。

